

指定管理者による公の施設の管理状況評価(令和6年度分)

施設	名称	栃木市そのべ児童館
	所在地	栃木市菌部町2丁目14番9号
	施設内容	児童厚生施設
指定管理者	名称	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会
	所在地	栃木市今泉町2丁目1番40号
	主な業務内容	地域福祉事業・介護保険事業・障害者自立支援法に基づく事業

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	利用案内掲示数			6か所	6か所		
	利用者アンケート数			100件	102件		
	利用者・参加者意見反映数			2件	5件		
	利用者満足率			80%	100%		
	参加者アンケート数			100件	79件		
業務改善数			3件	4件			
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20
指定管理者コメント	<p>①施設の設置目的に基いた管理運営方針を明文化し、事務室内に掲示しました。管理運営方針は職員会議等で確認し職員の理解を深めました。また、職員に事業計画書を配布した上で周知し、全員が運営方針を理解して業務に携わりました。</p> <p>②利用者への利便性に配慮し、出入口等に開館時間や休館日等の案内を掲示しました。また、低年齢の子どもにも理解できるよう配慮した内容で、掲示板に利用上の約束事などを掲示し、更に貸し出し用のおもちゃについても分かりやすく写真付きで利用方法等を掲示するなど、利用者の立場に立った使いやすい施設づくりを心がけ実践してきました。階段や踊り場には、楽しい雰囲気児童館に誘導できるよう、飾り付けを行ないました。また、高年齢の利用者が少ないという短所を解消するべく、その世代に向けた事業を行うなど、幅広い年齢を対象とした事業を総合的に計画し実施しました。</p> <p>③利用者アンケートの結果から、施設利用者及びイベント参加者からは、「満足」「やや満足」の割合が100%と、ともに高い評価を受けており、児童館運営に対して大変ご満足をいただきました。また、アンケートでいただいたご意見や日頃から利用者とのコミュニケーションを取る上でいただいたご意見について、内容を精査・検討しスピード感を持って改善等の対応をしました。</p> <p>④アンケート以外にも館内に利用者意見箱を設置し、広く利用者の意見を募るとともに、ご意見・苦情をいただいた際には、迅速に対応する姿勢をとりました。また、4件の改善(事前申請の必要のないイベントの拡充、子育て相談の随時実施、協働事業の拡充、6コミまつり協力)を行いました。</p>						

- ・ 掲示物や工夫を凝らした飾り付けなど、日頃から利用者へ配慮している姿勢が伺えるため、今後も利用者の目線に立った施設づくりをしてもらいたい。
- ・ 利用者アンケートの満足率は100%と素晴らしい結果であるため、今後も施設の設置目的を意識して、利用者の良い関係が築ける運営を続けてもらいたい。
- ・ 利用者等からの意見反映は、当初の計画を上回って実現されており、改善対応の高い意識が伺える。

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み

評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等(広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等)による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	利用者数		7,200人	9,181人			
	記事の掲載回数		25回	25回			
	児童館だより発行部数		2,450部	2,450部			
	新規事業数(既存事業名だが内容は新規のものを含む)		10回	16回			
	協働事業数		2回	5回			
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	I	1.0	20
指定管理者コメント	<p>①令和6年度利用者計画を7,200人と設定して施設の運営を行ないましたが、昨年度より1,981人増となりました。職員は、利用者に安心して利用いただける環境づくりや、アンケートで要望のあった世代間交流事業の新規事業を企画し、皆さんに喜んでいただくことができましたので、環境に合わせた施設運営はできたものと思います。</p> <p>②市内全世帯に配布される広報とちぎ等に行事案内等を掲載し、本会ホームページにも行事案内を掲載するなど、広い周知を心がけました。</p> <p>③新規利用者の増加に向けた事業として、少人数制で一人一人に手厚い対応、趣向を凝らした新規事業を16回実施しました。</p> <p>④協働事業について、複合施設の強みである、第六地区コミュニティ推進協議会講座部のフォークダンスクラブと『楽しく踊ろう』事業など、高齢者とふれあい世代間交流を行いました。また、地区コミュニティ推進協議会主催の第六コミュニティまつりへの協力につきましては、『読み聞かせのコーナー』の協力を行いました。栃木女子高等学校と協働し学習指導の場を設けました。</p>						
施設所管課コメント	<p>・利用者数は、計画値や昨年の実績と比べても大きく増加している。これは、新規の利用者を取り込むことと併せて、以前からの利用者にも継続して訪れてもらえるよう取り組んでいた結果と思慮します。新規事業、協同事業ともに計画を大幅に上回って実施されており、利用者増加に注力していたことが伺える。</p> <p>・少人数制で一人一人に手厚い対応ができる事業や、近隣学校等以前から繋がりのある外部組織との協同事業は、そのべ児童館の強みであると考えられるため今後も特色を活かした施設運営を継続していただきたい。</p>						

(3) 施設経費の削減の取組み

評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	事務経費削減額		12,180円	272,289円			
	事務経費削減率		3.00%	67.06%			
	施設修繕数		2回	3回			
	廃棄物の減量(牛乳パック、ペットボトル、新聞紙の使用回数)		10回	10回			
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	I	1.0	15	I	1.0	15
指定管理者コメント	<p>①指定管理料の収支手続きを適正に行いました。</p> <p>②職員は常に経費削減を心がけ、節電・空調管理に努めました。トイレ等の簡易な修繕は長寿園職員と協力しながら、職員が実施しました。</p> <p>③備品管理台帳の見直しを定期的に行ないました。また、施設点検報告書を作成し、四半期ごとに結果を市に報告しました。</p> <p>④事業に使用する工作物等の材料に、そのままではゴミとして廃棄する牛乳パック、ペットボトル、新聞紙等を積極的に使用するなどエコ対策に取り組みました。そのような中で、ぺたぺたひろば(こどもが手形・足形を取る)で使用するエプロンを新聞紙で作成し、資源のリサイクルに努めました。また、長寿園職員からいただいた古新聞や包装紙で作成したエコバックを事業の中に取り入れ、イベント参加後のお土産用バックとして、可愛いデザインのエコバックを受け取った皆さんからは大好評でした。</p>						
施設所管課コメント	<p>・事務経費は大幅な削減を実現しており、日頃から職員が経費削減の意識を非常に高く持っていたことに加え、備品台帳の見直し等抜本的な改善に取り組んだ結果と評価できる。</p> <p>・事業用材料に再利用物を使用する工夫については、参加者へ配布する物品が好評を得ているということで「サービスの質を確保した経費削減」の好例と言える。</p> <p>・実績として表せる削減金額には限りがあるが、今後も複合施設職員とも協力しながら経費削減、環境への配慮に取り組んでもらいたい。</p>						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか						
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか						
	③	職員の福利厚生は充実しているか						
	④	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか						
	⑤	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>						
管理状況評価指標		指標名			計画値		実績値	
		人員配置数			5人		5人	
		研修会開催数			3回		5回	
		研修会参加者数			延べ4人		延べ10人	
		常勤職員1週間の平均勤務時間数			40時間		38.75時間	
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)			
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点	
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16	
指定管理者コメント	<p>①総括責任者に、防火管理者及び社会福祉主事等を有する者を配置して施設全体の把握に努め、安全管理を徹底しました。その他の職員は、保育士や幼稚園教諭等の資格を持つ「児童の遊びを指導する者」を配置しました。</p> <p>②虐待防止等の受講や救急法等講習会では、長寿園にて合同講習会をすることにより職員間の交流も含め、共通認識をすることにより職員の資質の向上に努めました。また、朝礼において、緊急時の対応方法を研修するなど、緊急時における職員体制の強化に努めるとともに、不測の事態に備えました。また、館長会議へも出席し、情報の共有を常に図り、公平公正に接遇するよう職員一同努めました。</p> <p>③福利厚生について、全職員が健康診断を適正に受診しました。</p> <p>④健康保険料、厚生年金保険料、各種税金について滞納はありません。</p>							
	<p>・有資格者の人員確保はどの施設でも課題となっているが、その中でも、有資格者を配置し安全適正な管理運営体制を確保していたものと判断できる。</p> <p>・今後も積極的な研修参加や職員間の情報共有に努めるとともに、複合施設の合同講習会など施設の実情に沿った取り組みによる施設管理を継続してもらいたい。</p> <p>・指標となっている職員の勤務時間など、目に見える形で働きやすい職場環境づくりを行うことが、安定的な施設運営に繋がると考えられる。</p>							
施設所管課コメント								

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み

評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	定期安全点検実施回数			12回	12回	
	事故発生件数			0回	0回	
	個人情報保護講習会等参加者数			1人	3人	
	訓練実施回数			2回	2回	
	訓練参加者数			50人	50人	
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6
指定管理者コメント	<p>①毎日の館内、月1回の施設全体の点検を行い安全管理を徹底しました。また、来館するこどもたちにも理解しやすいように、イラスト入りで約束事を掲示しました。</p> <p>②緊急時の対応方法を定めた危機管理マニュアルや消防計画を作成し、職員に周知徹底を図りました。消防設備・防火対象物においては、とちぎ西部生きがいセンターとして年2回の点検を実施し、更に児童館内にある非常通報装置の点検を実施しました。また、施設の管理瑕疵に係る児童安全共済に加入し、不測の事態に備えました。</p> <p>③毎月1日に避難経路・消防設備の確認等を行いました。本施設は複合施設であるため、老人福祉センター長寿園、第六地区コミュニティセンターと合同で消防避難訓練を実施し、職員等が万が一の際の避難経路や避難の手順について確認することができました。なお、消防訓練時各設内に利用者等が少なかったのですが、できるだけ積極的に声掛けを行い、ご参加いただけるようお願いしました。</p> <p>④個人情報は、本会個人情報保護規程に基づいた管理方法で適正に処理しました。</p>					
	<p>・利用者数が大きく増加している中であっても事故発生件数が0であり、日頃から安全管理対策が徹底されていたものと思慮する。また、こども達が理解しやすいようイラストを使用するなど工夫が伺える。</p> <p>・消防避難訓練を複合施設合同で行い、実践的な対策をとっていたものと考えられる。</p> <p>・個人情報の取り扱いについては、引き続き個人情報保護規定に基づき適正に管理していただきたい。</p>					
施設所管課コメント						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	20	20	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	20	20	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	15	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	16	16	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	12	12	
評価点合計	100	83	83	
総合評価		A (優)	A (優)	

第3次評価(選定委員会評価)	
選定委員会コメント	

(4)施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期
資産総額	1,983,652,461	1,965,766,261	1,962,114,735
売上高	825,285,169	807,520,501	804,065,009
経常利益	△ 82,602,966	△ 78,435,421	△ 66,888,293
当期利益	39,099,727	△ 78,285,914	△ 72,810,722
経常収支比率	90.9%	91.2%	92.3%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期
経常費用	910,352,088	888,350,143	872,437,597
経常収益	827,749,122	809,914,722	805,549,304
経常収支比率	90.9%	91.2%	92.3%

○経常収益(営業収益+営業外収益)÷経常費用(営業費用+営業外費用)×100で求めます。

指定管理者コメント

事務事業及び組織のスリム化を促したことにより、事業費支出及び人件費支出が圧縮いたしました。しかしながら、令和5年度における本会全体の財務状況は、依然として収益事業の実績が思わしくなく、介護保険事業収益や障がい福祉サービス等事業収益の減により経常収益の減少が続いております。繰越金があることも考慮すると、現時点で組織全体の運営に支障はありませんが、経営の安定化に向け、今後もコスト削減と収入源の確保に取り組みを継続いたします。